

第1回 八王子市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会 高齢者計画・介護保険事業計画策定部会 委員からの意見と回答

No.	ご意見・ご質問等	回答
その他		
1	<p>高齢者の方にとって、若い人が普通に読んで理解することも、年が増すほど困難になってくると実感しています。勿論、肉体的な衰えは言う迄もないこと。逆に現在は意味が分かりにくい表現が(英語も含めて)多くなっています。</p> <p>そこで、なるべく分かりやすい(感覚的?)言葉を表記することも考えています。例えば、あんしん相談センター・はちまるサポートなど。さらに、何か相談がある時には、どこを訪ねたらとかどこに連絡したらいいのだろうか困っている高齢者が、たくさんいることも事実です。本当は、家の近くにわかりやすい言葉で書かれた相談所があると有難いのではないのでしょうか。また、町会が高齢者の出席率が高いのでそちらへ相談所などの担当者が直接行って説明してあげるのはいかがでしょうか。全部行くのは大変ですが、そのくらいの方が良いのではないのでしょうか。</p>	<p>ご指摘のとおり、高齢者の視点に立った、わかりやすい表現で周知をすることは大変重要なことと考えており、必要な方に必要な情報が適切に伝わるよう努めてまいります。また、「高齢者あんしん相談センター」、「はちまるサポート」など高齢者の相談先の認知度向上は優先すべき課題であると考えており、身近な高齢者の相談場所として認知度及び利便性の向上に取り組んでおりますが、今後わかりやすい周知についても強化してまいります。</p>